

教育目標
創造 誠実 健康

みどりの学びのエリア
めざす子ども像

(三園小・高三小・高五小・高三中)

令和5年9月1日 第9号 校長 飯塚 正人



高三中だより

- 自ら学ぶ子ども
- 心身ともに健康で思いやりのある子ども
- 規範意識を身につけ自立した子ども



9月 主な行事予定	
1 金	2学期始業式 防災訓練
2 土	土曜授業 学校説明会(小学生保護者) CS委員会13:30~
4 月	9年確認テスト 運動会練習始め
5 火	放課後運動会係会
7 木	専門委員会15:45~
8 金	選管委員会・立候補者説明会
11 月	生徒朝礼 選挙運動始め 貧血等検診7年+α 中央委員会
12 火	⑥運動会予行準備・係会
13 水	運動会予行練習①~④
15 金	運動会前日準備・係会⑤~
16 土	運動会(土曜授業扱い)
20 水	運動会予備日
21 木	放課後生徒会役員選挙リハーサル
22 金	⑦生徒会役員選挙
25 月	背柱側わん検診7年+α
28 木	中間考査(英・理) 給食なし
29 金	中間考査(数・国・社) 給食有り

2学期は何を頑張るか決めていますか？

校長 飯塚正人

「勉学の秋」

夏休み、皆さんはどのように過ごしていましたか？自分を甘やかさずに鍛えることができましたか？鍛えることはできなくても自分で何かをやり遂げたことや普段できないことをやってみたという経験があったら、それでよいと思います。夏に蓄えた力を2学期につなげていきましょう。

2学期は一番長い学期です。日数や時間は皆さん同じで公平に与えられたものです。しかし、日々の過ごし方は皆さん違います。その日の過ごし方に意味と価値があり、その積み重ねが大きな力になります。そのためにも目標をもつことが大切です。「2学期の目標は何ですか？」ときかれて、しっかり答えられるようにして欲しいと思います。しばらくは暑さが残ると思いますが、日一日と空は秋色へと変わってしていきます。「勉学の秋」、一時間一時間の授業を大切にしていきたいです。

「9.16と10.28」

一学期は毎日の授業や学年の行事で、人とのかかわりやつながり、ルールを守ることの大切さなど、様々なことを経験し学んできました。2学期は全校生徒で取り組む「運動会」(9/16)と「創造祭」(10/28)があります。9年生にとっては高三中最後の行事です。運動や歌うことが苦手な生徒ももちろんいると思いますが、友情を育みながら過ごす毎日は高三中での貴重な時間です。きっとクラスで一致団結し、熱い思いが込み上げ、心動かす行事になることと思います。9年生の取り組む姿を見て7・8年生は学び育つものです。また、生徒の頑張る姿を見て保護者や地域の方、先生方も感動します。皆さんの頑張る姿を今から楽しみにしています。



「2学期の決意」 8年 若海さん

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。今年の夏休みは、4年ぶりにマスクをはずすこともでき、充実した夏休みを送れたのではないのでしょうか。

さて、2学期には9月に運動会、10月に創造祭という大きな行事があります。各行事の実行委員が考えたスローガンをもとに、各クラスで協力して優勝、最優秀賞を取れるように一生懸命取り組みましょう。

9年生は中学校生活最後の運動会、創造祭です。今までの高三中での経験を生かし、各クラスで協力して最高の思い出をつくってください。

8年生は2回目の運動会と創造祭です。7年生の時をふり返って、今年は前年よりいい成果が出せるように協力し合って頑張りましょう。そして、運動会や創造祭が終わる頃には、委員会や部活動などの中心的な立場になるので、学校を引っ張っていけるように行動していきましょう。

7年生は中学生になって初めての運動会と創造祭です。1学期を共に過ごしたことで、クラスの絆が強まってきたので、クラスで力を合わせて頑張ってください。

また、9年生はほとんどの部活の大会が終わり、多くの人が勉強に集中している頃だと思います。体調管理をしっかりし、受験勉強に励んでください。

今日から2学期が始まります。運動会や創造祭は、今のクラスでは最初で最後の行事です。クラスで協力し合い、楽しい思い出をつくりましょう。



僕は今回の平和の旅で、貴重な体験をたくさんさせていただきました。

特に衝撃を受けたのは、「核抑止論」という考え方です。核抑止論とは、凄まじい破壊力を持つ核兵器を保有することが、戦争の抑止になり、ひいては国家の平和に繋がるという考えの事です。1日目の青少年平和の旅のグループディスカッションの発表でこの考えを知ってから、頭から離れなくなりました。この発表を聞いた際、核抑止論の考えを完全に否定できるような言葉が出てこなかったからです。そして、核兵器の存在を認めている人がいることに驚きました。僕も一瞬、確かに、と思ってしまいました。しかし、世界の恒久平和には、核兵器廃絶が必須であることは紛れもない事実です。結局、考えがまとまらないまま、1日目が終わりました。

2日目は、平和記念式典に参加しました。そこでの広島県知事の言葉で、やはり「核抑止論」は間違っているということに気づかされました。その中に、「あなたは、今この瞬間も命を落としているウクライナの市民に対し、責任を負えるのですか。また万が一核抑止が破綻し、世界で核戦争が起こったら、全人類の命、地球上の全ての生命に対し、責任を負えるのでしょうか。核兵器は、存在する限り人類滅亡の可能性をはらんでいる、というのが紛れもない事実です。その可能性をゼロにするためには廃絶の他にない、というのも現実なのです。」という言葉がありました。

そこで、僕はとても重大な事に気づきました。それは、どんなに過ごしやすい平和であったとしても、核抑止論によりもたらされるのは仮初めの平和であり、真の意味での平和ではないという事です。そして、その平和ではいつかもう一度原爆を使用する機会が訪れ、再び広島や長崎のように多くの尊い命が奪われる、二度と起こしてはならない過ちを繰り返すことになってしまうことも分かりました。

3日目は、広島平和記念資料館を見学しました。どの展示物も当時の状況が、いかに悲惨なものであったかを強く物語っていました。爆心地付近では、地表温度が3000~4000℃に達し、爆風は秒速440メートルに及んだそうです。

高熱でひしゃげてしまった自転車や火傷で背中一面がケロイド状になってしまった男性の写真。普通に生活していた人や町が、たった一発の原爆によって一瞬にして焼かれてしまったのです。僕は自分の考えの甘さを痛感し、核抑止論などという愚かな事は決して言うてはならないと強く思いました。

僕はこれから、平和の旅を通して得た貴重な経験を、伝導者としてしっかり伝えていきたいです。そして、常に考える事を放棄しないようにしたいと思いました。二度と同じ過ちを繰り返さないために。



夏休み中の主な活動



7/21小学生6組体験



6組 水泳活動



蔵書点検



オンライン生徒会交流会



生徒会仮設トイレ設置訓練



三丁目自治会「夏祭り」吹奏楽演奏

夏休み中の生徒の活躍

- 東京都中学生「全日本ジュニアバドミントン大会板橋区選考会」
 - ・男子1部 **第2位** 花川 **第3位** 鮎澤 **第4位** 山野 (3名は7/31の**ブロック大会進出**)
 - ・男子2部 **第1位** 多田 ・女子2部 **第1位** 若海 **第3位** 内藤
- 板橋区民バドミントン大会
 - 女子ダブルス**優勝** 山崎・内山 男子シングルス**第2位** 鮎澤 男子ダブルス**第3位** 多田・櫻井
- 東京都中学校吹奏楽コンクール B組 **銀賞**
 - 同 **「個人賞」受賞** 依田 (リーダーとして活躍し部の充実発展に貢献)
- 第32回 バスケットボール室町杯 男子の部 **優勝**
- 第47回 関東中学校水泳競技大会
 - ・女子200m背泳ぎ 決勝 **第9位** 久保 ・女子100m背泳ぎ 予選 **第14位** 久保
 - ・男子 50m自由形 予選 **第16位** 松田
- 第48回東京都中学校第4ブロック新人テニス選手権大会 女子シングルス **第3位** 大曲
- 2023 産経ジュニア書道コンクール中学生以下 A部門 **「ジュニア賞」受賞** 吉富 (応募 12,580点)